

騒音レベル 30dB 低減は『99.9%遮音』

環境・健康

聴覚保護具により、騒音レベルを 10dB 低減するには 90%遮音、騒音レベルを 20dB 低減するには 99%遮音、30dB 低減するには 99.9%遮音する必要があります。下記表に騒音レベルと必要遮音率の関係を示しました。

耳孔の形状と大きさは個人差が大きく、耳栓は耳孔に隙間なく装着できるものを選ぶことが大切です。隙間が生じ、音が 1 割以上漏れれば 10dB を超える遮音はできなくなります。

表 騒音レベルと必要遮音率

騒音レベル dB(A)	必要遮音値 dB(A)	必要遮音率 (%)
85	0	0
90	5	68.4
95	10	90.0
100	15	96.8
105	20	99.0
110	25	99.7
115	30	99.9

【騒音の許容基準】

日本産業衛生学会（2016）曝露時間 8 時間での騒音レベルによる許容基準：85dB(A)

kes サポート

目 的	課 題	k e s サポート
把 握	作業環境の騒音分布状況	作業環境測定
	作業者の騒音曝露状況	個人曝露モニタリング
	騒音の発生状況	騒音周波数分析
改 善	適切な保護具の使用	労働衛生コンサルティング
教 育	騒音作業者の衛生意識の向上	労働衛生教育